

あかあしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

元氣のでてくる“ことばたち”

(211)

村上信夫



撮影・鶴崎燃

東日本大震災で被災した子どもたちを中心に撮影したものだ。タイトルは、「子どもたちの夢がつながっていくことを想像しよう」というイメージでつけた。

の様子を収めた写真は他の人に任せて、自分にしか撮れない写真を撮ろうと考えていた。それがこの写真集にあるような、子どもたちの笑顔を撮ることだった。

「阪神淡路大震災のとき、あの惨状にもかかわらず、中学一年生くらいの思考サイクルが速いので、いつまでも被災者のまま止まっていることはないんです。そして植物のように、日の当たっているほうに顔を向けて伸びていきます。現実に向けて、下を向いてしまいがちな大人とは違い、日だまりに身を置くゆとりがあるということでしょうね。」

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」(毎週日曜10:00~)、月刊『清流』連載対談~ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』(近代文藝社)『ラジオが好き!』(海竜社)など。趣味、将棋(二段)。
<http://murakaminobuo.com>

真実を写したい

写真家 安珠さん

20年ぶりの再会
写真家の安珠さんとは、20年ぶりの再会だった。ジバンシーにスカウトされフランスへ渡り、パリを拠点に国際的なモデルとして活躍した後、写真家に転身したばかりの頃に会ったのだ。今もモデル時代と変わらぬ華やかさを持ち合わせていた。長い空白の時間を感じさせない、心と心が共鳴し合う濃密な対談となった。

10代の中高生たち77人の写真を撮影した。未来を思い描き、夢を追う彼らは、笑顔を忘れていない。別々の場所で撮影したが、ポーズは一緒だ。両手を広げてもらった。その写真を横一列に並べたら、手を繋ぎひとつになっているように見える。広げた両の手は、夢に向かっていくようにも見える。希望を掲げるようにも見える。

子どもたちが大笑いしながら仮設テントに入っていくのを見たんです。何かあっても笑うことができる彼らに、大きな生命力を感じました。それで、どんな状況でも前に向かって一生懸命生きていく子どもたちを撮りたいと思っていたんです。

「昔は広げられた誰かの手に飛びこむ感じでした。自分の両手を広げ始めたのは、写真家になってからです。表現者は自我を吐き出さなければなりませんし、それに自分の『素』を出して信頼してもらわないと、撮られる方も『素』を出してくれないんです。」

安珠さんと再会を果たしたのは、桜吹雪の舞う白金の八芳園だった。20年前、NHKの「おはよう日本」でインタビューしたことを、よく覚えていてくれた。互いの20年間に想いを馳せた。安珠「久々にお会いした村上さんとはとても明るい雰囲気に満ちていて、お顔がポジティブになりましたね。」

被災地には、震災後一年半くらい経ってから行った。すぐ行かなかったのは訳がある。「阪神淡路大震災のすぐあと、被災地の写真を撮って寄付金を募ろうということで現地に赴いたが、惨憺たる現地の様子や被災した方たちにカメラを向けることができなかった。」

ある程度時間が経って、みんなが将来の夢を語るようになった頃に行こうと思ったのはそのためだ。「子どもは

「写真は目に見える事実しか写りませんが、でもその中に真実があるんです。それは形のないものですが、写ると思えば写る。撮り手の感情が写し込まれます。真実を写そうと思ってカメラを向けています。事実と真実を見極めながら、真実を伝えたいと思っています。」

「村上さんは、色で言えば近寄りやすいブルーから暖かいオレンジ」ムラカミ「安珠さんは、かたくなさが消え、自由になった感じ」

だから、東日本大震災のときも自分は撮れないとわかっていて。被災地



俳画/イネ・セイミ

手で夢を繋ぐ
最新の写真集『Dream Linking』は

最新の写真集『Dream Linking』は

「写真」という字は「真実を写す」と書く。

「この日この時、この一瞬を撮りたい」と思っています。私は自分の心が震える写真だけを撮っていますが、自分の感じたことをしっかりと表現すれば、見る側の想像力によって絶対伝わるものだと確信しています。」

安珠さんとの、なよりの共通点は、「人に喜んでもらえることを、感情の種をまくつもりで活動している」ことだ。しだけ桜の下で、手を繋いで写真を撮った。

お互いに「種まき」をして芽が出て花開く夢を抱きながら…。

人は、
ことばで
磨かれる

対談!

好評発売中

イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

常滑屋
とき 俳画教室月二回 午後一時三十分~三時三十分
会費 一回 一、二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九(三三五)〇四七〇

講師 イネ・セイミ
(日本インディアンフルートサークル協会ディレクター) ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアンフルート。その音色はやさしく心に響きます。1レッスン・30分4,000円 会場・半田市潮干町1番地

申込み 0569-89-7127
お問合せ ine.seimi.jp@gmail.com

インディアンフルート教室開講します

誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からインディアンフルートで音楽を楽しみましょう。

受講生募集!!

会場 マツイン楽器店
ミュージックガーデン武豊
開講日 隔週木曜日(月2回)
10:00~11:00
形態 グループ
会費 1ヶ月8,802円(入会金5,400円)

詳しくはマツイン楽器店本社 教室係まで
フリーダイヤル:0120-37-5576

田村孟さんをめぐって (8) 杉本武之

(3) 果たせなかった再会

今から5年前の春のことでした。ジュディ・オングの木版画の個展が、隣の高浜市の「かわら美術館」で開かれることを知り、その初日に、彼女が美術館にやって来て講演をする、と新聞に書いてありました。

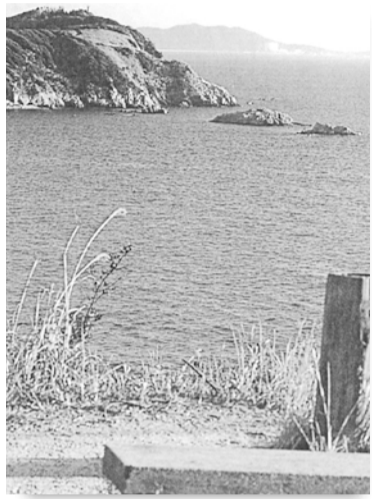
私は、彼女に会って、45年近く前に篠島で一緒に口けた時のことを話してみようかなと思いましたが、丁度その頃、私は「慈愛の人・良寛」という本を出版していました。その本を彼女に進呈するのいいなと思えました。

あのジュディ・オングに会えるのだという期待が膨らむと同時に、恥ずかしさがドツと募ってきました。もしも、彼女が、ロケのことや私のことなど何も覚えていない、と言ったら、どうしたらいいだろう。また、自著を進呈するというのも、何か偉ぶっているような気がしてきました。

そこで、こうした私の複雑な思いを、出来るだけさりげなく女房に話してみました。すると、我が愛する女房は、即座に「そんな恥ずかしいこと、止めておきなさい」と言ったのでした。

結局、意気消沈した私は、展覧会にも行きませんでした。

冷静に考えてみると、私にとってジュディ・オングは大きな存在ですが、彼女にとって私はゼロに等しい存在です。やはり行かなかった方が良かったのかな……。あるいは、ひよっとしたら、往時の思い出に話が弾み、美しい女性と楽しい一時を過ごしていたかもしれません。その可能性はゼロではない。



島からの眺め

はなかったようにも思われるのです。ああ、未練多き、愚かな老人よ……。なお、新聞は、木版画家としてのジュディ・オングについて、こう紹介していました。

(4) 最初で最後のドラマ出演
次に、私がこのドラマに出演した経緯について書きます。

撮影も順調に進み、主人公の島の女子中学生が、今後の進路のこ

この指とまれ (242) 氏原朝信

昭和51年度 三年三組の学級通信「なかよし」

この一年何を学びましたか?

- 3年3組の子どもたち(45名)が学習に、生活に、私に対してどのような意識をもっているかのアンケートをしました。子どもからの私に対しての「通知表」です。
1. 好きな科目・数字・人数
国語14 算数13 音楽8 理科7 体育25 国語14 図工14 社会4
 2. 好きな科目
国語16 社会15 理科14 算数9 図工9 音楽6 体育3
 3. 授業がわかった?
よくわかった11 わかった29 わからなかった1
 4. 班活動は楽しかった?
はい36 いいえ5
 5. 友だちができた?
はい41 いいえ1
 6. 1年間、楽しかった?
はい42 いいえ0
 7. 先生について
楽しかったことは? 親子ハイキング24 遠足6 たん生会、ドッジョボール大会 各2 朝運動場を走ったこと、班集会、友だち・先生と遊んだこと、運動会、クリスマス会 各1

・すきなことろ
ふざけておもしろい17 勉強しないでサッカーをしたこと、みんなと遊んでくれたこと 各11 顔6

宿題を出さないこと、やさしい 各4 楽しい、きびしい、わかるまで教えてくれること 各3

・きらいなことろ
よくおこる23 手3 全部、顔、たん足 各2

この結果を見て何よりもうれしいのは、友達で楽しい班活動ができたことです。班活動として、20分放課後利用しての班集会、お楽しみ会での班の出し物の計画と練習などでした。こうした活動によって仲間と助け合った、協力し合ったりして友達という絆をつくりてきたようです。

「授業がわかった?」でほとんどの子どもが「わかった」と答えてくれた、うれしいのですが、「わからなかった」という子が一人いたことは、私の力不足であることを痛感しています。

(略) 子どもに接するときもっと気長く、子どもの行動を見守ることの大切さを改めて思いました。(略)

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

子供と一緒に 作りやすい 春キャベツのキーマカレー

今が旬の春キャベツ。甘くて美味しいですね♪
外葉の固い所もみんなみじん切りにして食べちゃいませよ♡

(4人分)

材料

- ① サラダ油…適宜
- ② ショウガ…ティースプーン一杯ほど(みじん切り)
- ③ にんにく…一片 (皮をむき、みじん切り)
- ④ 玉ねぎ…中1個(皮をむき、みじん切り)
- ⑤ にんじん…中サイズ半(皮をむき、みじん切り)
- ⑥ 春キャベツ…葉大きめ5~6枚(芯も葉も1cm角切り)
- ⑦ 合い挽き肉…200g
- ⑧ カレールー…4皿分
- ⑨ ケチャップ…50cc
- ⑩ 砂糖…小さじ1
- ⑪ ウスターソース…大さじ1
- ⑫ 塩…適宜
- ⑬ こしょう…適宜

作り方

1. フライパンに①を敷き中火で⑥の香りがでるまで炒める。
2. ②③④⑤を加え火が通ったら⑦を加え、水分を飛ばす様炒める。
3. ⑧⑨⑩⑪⑫⑬を加え、肉に9割ほど火が入った所で⑧を入れ手早く炒める。
4. 味を見て⑫で調味する。
5. ごはんのにのせてもよし、うす切りパンにサンドしても美味しいですよ。

とを先生に相談するシーンを撮るとい段階で、困ったことが生じました。田村さんは、その先生役の俳優を連れて来ませんでした。島で教えている本物の先生にでも頼めばいい、と安易に考えていたのかもしれない。

しかし、その前日になっても、適当な人が見つかりませんでした。夕食を食べながら、田村さんが私に言いました。

「杉本さん、悪いけど、先生役を頼むよ。適当な人が見つからなくてね。杉本さんは、どこもなく小学校や中学校の先生ってタイプだから、大丈夫だよ。よろしく頼みますよ。」

そんなこと夢にも思ったことの無かった私は、驚いてしまいました。「よろしく頼みますよ」と言われて、「はい、任せてください。ちゃんとやります」と即答もできず、私は本当に困ってしまいました。しばらくの間、心の中で激しい葛藤が続き、しかし、私は、田村さんを困らせるのはいけない

とを先生に相談するシーンを撮るとい段階で、困ったことが生じました。田村さんは、その先生役の俳優を連れて来ませんでした。島で教えている本物の先生にでも頼めばいい、と安易に考えていたのかもしれない。

しかし、その前日になっても、適当な人が見つかりませんでした。夕食を食べながら、田村さんが私に言いました。

「杉本さん、悪いけど、先生役を頼むよ。適当な人が見つからなくてね。杉本さんは、どこもなく小学校や中学校の先生ってタイプだから、大丈夫だよ。よろしく頼みますよ。」

そんなこと夢にも思ったことの無かった私は、驚いてしまいました。「よろしく頼みますよ」と言われて、「はい、任せてください。ちゃんとやります」と即答もできず、私は本当に困ってしまいました。しばらくの間、心の中で激しい葛藤が続き、しかし、私は、田村さんを困らせるのはいけない

暗記しなくてはいいじゃないセリフは、そんなに多くはありませんでした。しかし、何しろ、一人で適当に喋ればいいというのではなくて、ジュディ・オングを相手に先生らしく演技しなくてはならないのです。

当日になりました。

主役のジュディ・オングは校庭のブランコに乗っています。そのすぐ側に、先生役の私が立っています。ブランコをゆっくり漕ぎながら、主人公の女子中学生が先生に話しかけます。それに先生が応答します。どんなセリフだったか、すっかり忘れてしまいました。とにか、島から離れて都会に出て行きたい中学生に、先生が、「島で生活した方がいいではないか」とかなんとか言ったように記憶しています。

画面上の自分の唇の動きに合わせて、撮影した時と同じセリフを喋らなくてはなりません。それが本当に難しいのです。

スクリーンに私の顔が現れます。私の唇が動き出します。それに合わせて、「確かに、島の生活は苦しいね」とか何とか喋らなくてはなりません。遅れないうちに喋る、ということが実に難しいのです。神経を集中しすぎると、スムーズに声が出てくれ

いと思つて、「やってみることにしますが、下手すぎたら、すぐに他の人に代えてください」と答えました。

暗記しなくてはいいじゃないセリフは、そんなに多くはありませんでした。しかし、何しろ、一人で適当に喋ればいいというのではなくて、ジュディ・オングを相手に先生らしく演技しなくてはならないのです。

当日になりました。

主役のジュディ・オングは校庭のブランコに乗っています。そのすぐ側に、先生役の私が立っています。ブランコをゆっくり漕ぎながら、主人公の女子中学生が先生に話しかけます。それに先生が応答します。どんなセリフだったか、すっかり忘れてしまいました。とにか、島から離れて都会に出て行きたい中学生に、先生が、「島で生活した方がいいではないか」とかなんとか言ったように記憶しています。

画面上の自分の唇の動きに合わせて、撮影した時と同じセリフを喋らなくてはなりません。それが本当に難しいのです。

スクリーンに私の顔が現れます。私の唇が動き出します。それに合わせて、「確かに、島の生活は苦しいね」とか何とか喋らなくてはなりません。遅れないうちに喋る、ということが実に難しいのです。神経を集中しすぎると、スムーズに声が出てくれ

常滑市民文化会館

- 第六十一回 常滑市美術展 開会式 十五日(開場 午後十二時 開演 一時)
- 関係者ホール(同二時) 常滑市教育委員会生涯学習スポーツ課 0569-431511
- 第二回 市民公開講座 素晴らしい先生をあなたに 慢性腎臓病(CKD)にならないために 二十一日(開場 午後一時 開演 一時半)
- 常滑市民病院血液浄化センター 0569-3513170(代)
- 常滑市文化協会 邦楽のつどい 二十九日(開場 午後十一時 開演 正午)
- 常滑市文化協会事務局 問合せ 0569-2920
- 常滑市の森資料館 0569-2920
- 企画展 常滑の超絶技巧 八日(同)

常滑市立図書館

- 常滑市立図書館 物写真展 墨絵(俳画等) 五日(未祝)
- あじさいグループ展 水彩画展 六日(開場 午後四時 開演 午後六時)
- グループ展 書画展 切絵 陶芸 十八日(開場 午後四時)
- 常滑市展(川柳) 二十八日(開場 午後八時)
- 常滑市体育館
- 常滑市民バドミントン大会 一日(同)
- 春季市民剣道大会 五日(未祝)
- 東海少年少女レスリング選手権大会 八日(同)
- 常滑市健康づくりフェスティバル 十四日(同)
- 常滑市卓球選手権大会 十五日(同)
- 愛知県高校総体バスケットボール競技 二十一日(同)
- 常滑市民バスケットボール大会 二十二日(同)
- 愛知県小学生ABCバドミントン大会 シングルス 二十八日(同)

「私の声は、小松方正と

「何度やっても駄目なようだから、これで止めましょう。東京で、小松方正にやってもらうことにします」

この言葉を聞いて、私は、もう一度やらなくてはならない、と固く決意しました。

彼の提案を受け入れれば、テレビの画面で、か高い声の私が、あの低音の小松方正の声を喋っていることになるのです。これだけは何としても阻止しなければなりません。私は、田村さんに懇願しました。

「私の声は、小松方正と

「何度やっても駄目なようだから、これで止めましょう。東京で、小松方正にやってもらうことにします」

この言葉を聞いて、私は、もう一度やらなくてはならない、と固く決意しました。

彼の提案を受け入れれば、テレビの画面で、か高い声の私が、あの低音の小松方正の声を喋っていることになるのです。これだけは何としても阻止しなければなりません。私は、田村さんに懇願しました。

「私の声は、小松方正と

「何度やっても駄目なようだから、これで止めましょう。東京で、小松方正にやってもらうことにします」

この言葉を聞いて、私は、もう一度やらなくてはならない、と固く決意しました。

彼の提案を受け入れれば、テレビの画面で、か高い声の私が、あの低音の小松方正の声を喋っていることになるのです。これだけは何としても阻止しなければなりません。私は、田村さんに懇願しました。

「私の声は、小松方正と

「何度やっても駄目なようだから、これで止めましょう。東京で、小松方正にやってもらうことにします」

この言葉を聞いて、私は、もう一度やらなくてはならない、と固く決意しました。

彼の提案を受け入れれば、テレビの画面で、か高い声の私が、あの低音の小松方正の声を喋っていることになるのです。これだけは何としても阻止しなければなりません。私は、田村さんに懇願しました。

「私の声は、小松方正と

常滑市民バスケットボール大会 二十九日(同)

● 知多市にも未だ館 0569-1101

● 季節工作「コルク伝言板」 一日(開場 午後四時 開演 午後六時)

● ながさきグループ展 水彩画展 六日(開場 午後四時 開演 午後六時)

● グループ展 書画展 切絵 陶芸 十八日(開場 午後四時)

● 常滑市展(川柳) 二十八日(開場 午後八時)

● 常滑市体育館

● 常滑市民バドミントン大会 一日(同)

● 春季市民剣道大会 五日(未祝)

● 東海少年少女レスリング選手権大会 八日(同)

● 常滑市健康づくりフェスティバル 十四日(同)

● 常滑市卓球選手権大会 十五日(同)

● 愛知県高校総体バスケットボール競技 二十一日(同)

● 常滑市民バスケットボール大会 二十二日(同)

● 愛知県小学生ABCバドミントン大会 シングルス 二十八日(同)

誠意をこめて安心のお手伝い
年中無休・24時間体制

(有)大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール

TEL 0569-35-4949 (代表)
FAX 35-4911

知多の新鮮たまご
発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380
TEL 0569-73-6341

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

—自分ドラマつくろう— (61) 岡田 清治

姪の就職2

いまは行政異別に募集することになっているが、そのころは全国から集めることができた。新聞報道されるや、全国から問い合わせが殺到した。その日からK夫婦と指導員は五〇人の重度身障者と同居屋根の下での同居生活がはじまった。ここから不屈の精神で施設を拡充、老人の介護施設、保育所の運営など、この施設には現在、一、五〇〇名の利用者、彼らを世話する六〇〇名の職員がいる。

衣食住ついて、食べ物も最高のもの、寝具も清潔で美しいシーツで毎日、交換して寝る。入浴も毎日行う。臭いのしない建物に住む。そこまでしても「何か足りない」と感じる毎日が続いた。

K氏は施設の運営が軌道に乗り出したころ、高野山大学に学び、欠かさず修行を続けていた。大学での修士論文は『いのち』という大きなテーマを選んだ。

「いのちは限定された時期、空間を越えた、永劫の普遍的なもの。それを感じられる空間がある。それをつくる必要がある」と助言されました。

やがて高野山の高僧を迎え、「どなたこなたということはありません。施設に逗留して心のおか、体の不備を治療してほしい」とあいさつした。

車椅子の生活の日々、老いて重度がかさんでいく中で、苦悩が増すが、どこかでこれを止めたい。そのため誰かにすがりたくなる。K氏はそれを高野山に救いを求めた。

「弘法大師空海とご縁ができる、障害者の方々が生き生きとした喜びのある姿を見せました。これは自分が障害者から逃げるのではなく、全介護の人も、どんな重度の人も主体的に喜びを持つ、ああ、こんなことがあるのか」と喜びの夢をもつことができるようになった。

障害者だからといって、ただ周りから支援を受けるばかりではなく、積極的に社会に参加し、世界人類の文化遺産の環境改善に貢献しようと、毎週土、日の休みを利用して十一箇所の公衆トイレを清掃して回り、山からゴミ箱を撤去し、立て札やピラを作成して啓蒙活動をしている。

トイレを磨いていくことは、真言密教の修行道場であり、真言密教の霊山である高野の山へ何かしらの救いを求めて参拝に登ってくる方々に、清浄なところになつていただきたいと願っている。また、弘法大師空海や諸先輩の教え、偉業の数々に触れることで、一人でも多くの方が救われ、満たされた気持ちになって山を下りることになっていただくためにも、こうした日々の地道な実践を積み重ねることにより、環境美化の機運がさらに高まるように願っているという。

K氏は理趣教(真言密教で常に誦誦される経典)を一段から十七段まで唱え、その後利用者の一人ひとりの名前を表し健康祈願し、さらに介護職員に対して同様の健康祈願をする。これを毎日の勤行としている。この作法は一人ひとりに濃やかである。障害者十数名はその後ろで物音一つ立てずに聞き入っている。その意味がどこまで解っているかは定かではないが、

不思議な力が働いているように思える。人間はどのような障害があろうとも、自己決定権がある。全介護の人も同じ気持ちをもっている。

真言密教の教えは「即身成仏」とK氏は理解した。この根底にわれわれの生命がそのまま宇宙に連なっているという認識である。

「われわれの心が天地を貫く本質とつながっている



写真：瀬美半島(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。 FAX: 0569-34-7971 メール: takamitsu@akai-shinbun.net



プロフィール

著者：岡田清治(おかだせいじ) 一九四二年生まれ ジャーナリスト (編集プロダクションNEXT108代表) 著書に『高野山開創二百年 いっぱいさん行状記』『心の遺言』などは社員の全能力を引き出せますか!『リヨンで見た虹』など多数

ので、深く掘り下げていくと、そこに宇宙の本質としての仏に触れ、その一切に合一できるという教えです」とK氏は解説する。

この一にして一切であり、一切にして一であるこの心も、その本質の上からは心を越え、物を絶したものであり、その仏身を絶したものが展開して、物とも心とも人体となつていのであるから、物心は元来、不二であり、人法はもとより一如である。この真相を悟るものが智であり、その血といつても心の他にあるものではない。

したがって、心といい、智といつても、またそれは一体でなければならぬのである。

「弘法大師の教えは即身成仏でした。命はすぐに終わる。しかし命はしまわぬ、生き続けることを教えてください」

真言密教というより元々は釈迦の教えだが、生きながらにして仏になれるということに感動を覚えるそのうだ。

高野山に行く歴史が見える。戦争当時、軍の上官が部下二、〇〇〇人連れて戦地に赴くまでの三ヶ月間を過ごしたと、ここで初めて知ったという。まもなく死に向かうので、弘法大師の下で無欲の世界へ行った気持ちになって戦地に赴いた。

大師空海の「三句の法門」の教えを福祉の実践活動に生かしている。つまり「菩提心を因となし(悟り)」「大悲を根とし(慈悲心)」「方便を以て究竟となす(今ある心を悟りとし、そのころをもつて、慈悲心をベースに活動を通して究極の道とする)——ことである。

「まず菩提心、命に無駄はないということをお話しています。そしてわけ隔て無く一切の修行、すべての生きとし生けるものに楽しくなることを提供することがお釈迦様の教えで、それが三句の思想です。」

動けなかった心と身体に活力を与える実践法として、まず三句の中の「菩提心を因となし」から実践していく。人間は心の中に仏徳を持つていことを知らなければならぬ。たとえ、どんなに重い障害を持つていても、人手を借りずに「自立して生活をしていこう」という強い思いをもつことが、菩提心を発するということである。「菩提心を因となし」は自立である。その一つが習字、パソコン、大正琴、手芸、農園作業などのクラブ活動である。

こうしたクラブ活動も菩提心を発する一環で、菩提心である自立心をゆるぎなく堅固に育成させ、力を養っていくことも慈悲の力だといえる。

真三は舞と健太郎の手記について話した後、しばらく瞑想にふけたのである。先をゆくり歩いている舞に追いつき、手記の最後の章に書いてあることに触れようかと、逡巡した。

—実は熟年パパになる前に、中年パパになりかけたことがある。

当然、この箇所を舞は読んでいると思われたが、それをいま舞に聞くことはむごいだろうと思つた。手記は続いた。

—ちょうど四十歳になった時だった。恋をした女子学生が妊娠したのだ。どうするか二人で延々と話し合ったが、結論は出ない。大学で化学実験に取り組んでいた彼女には深刻な事態だったし、死ぬほど思い悩んだに違いない。結局「産んだら大学へ行けなくなる」と彼女が考え、中絶する決心をした。

私は正直なところ、どちらでもよかった。産む、産まないは相手が決めることだと他人事のように考えていたのだ。子どもができれば、たとえ二人が別れようとして、生涯その子の親という関係は続く。相手がそれを望めば、私は同意していただろう。逆に「堕す」と言われれば、反対もしなかった。

真三には健太郎の気持ちが理解できなかった。離婚までして好きになった女性なら絶対に産んでほしいと願うのが普通ではないのかと思つた。ただ、離婚の相談はあつたが、女学生との妊娠のことは相談を受けなかった。同じ兄弟といつても相談できなかったのだらう。

真三の二歳上の兄、正輝も浮気がばれて家庭が大騒動になったが、日にち薬で一見、収まったかに見えるが、その後、兄弟や両親の関係を影を落とし、最後は醜いことになった。健太郎の友人に後日「健太郎君はもつとまよくやればよかったのに」と真三が告げられた時に、「そうですね」とお茶をにごした。普通、健太郎の場合も「中年の浮気だろう」とみられていた。

確かに健太郎は要領がいいように見えて、女性との関係は真つ直ぐというか、バカ正直なところがあった。手記は続く。

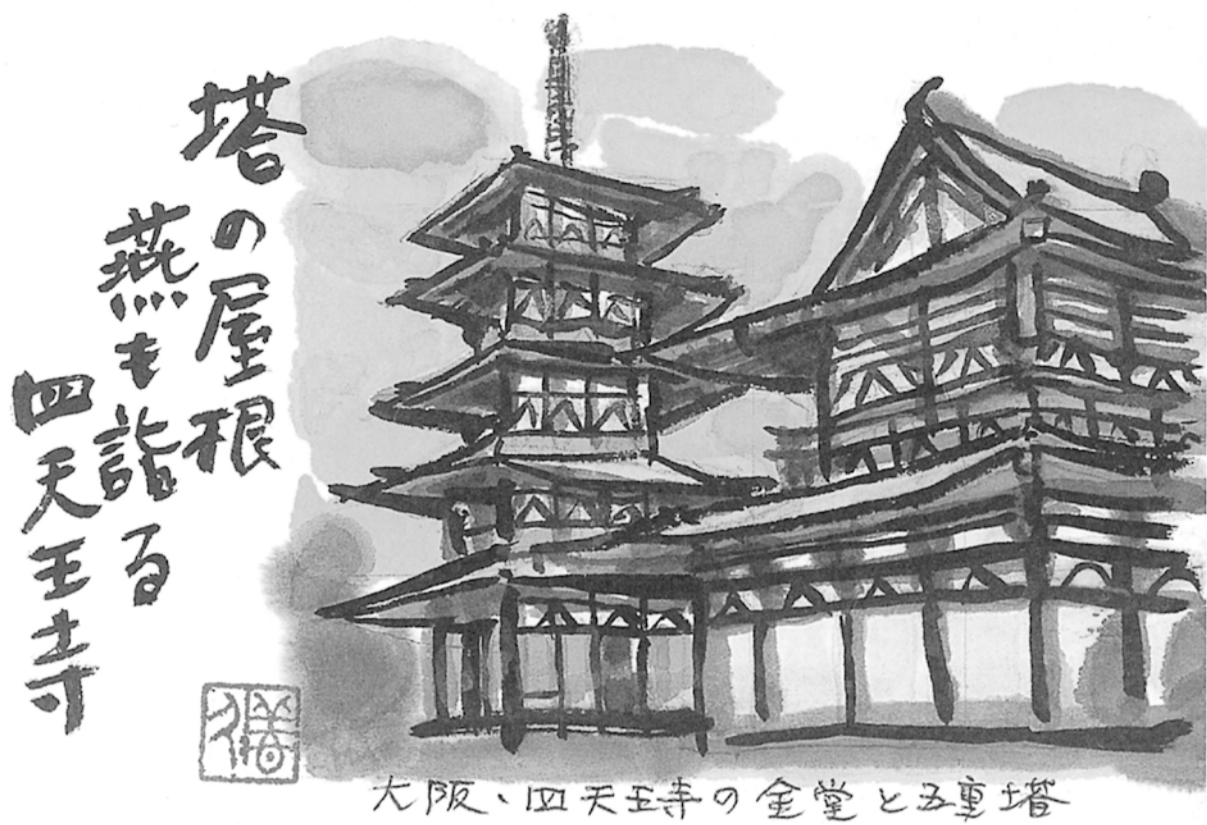
—木枯らしが吹くころ、二人で産婦人科へ出かけた。手術はあつてなく終わった。彼女はしばらくベッドに横たわつていたが、午後には退院した。これがきっかけとなった訳ではないが、しばらく時が流れたあと、私たちは別れた。その後、彼女は自ら命を絶した。

過ぎ去つたことをいくら悔やんでも仕方がないとは思ふ。しかし、妊娠した時、なぜ「ぜひとも産むべきだ」と言わなかったのか。どうして言えなかったのか。悔やんで悔やんでも悔やみ切れない。その後の人生がどうなつていったかも分からないが、生命を慈しむ気持ちを持たなかつた自分が情けなかつたのだ。

そんなこともあつて、現妻の裕子と再婚する際に子どもをつくることに私は異を唱えなかつた。いや、裕子以上に望んだと言つてもいい。娘の舞の誕生が無性にうれしく、新しい生命の誕生を手放しで喜んだ。そして子育てを楽しむとうとひそかに考えたこともある。

その一方で絶えず不安に襲われたのも事実だ。熟年パパになつてみると、見込み違いはいくらでも起きた。子育てが甘くないことを身にしみて感じたことも大きい。何が何といつてもわが身に老いの暗雲が迫っていることだらう。

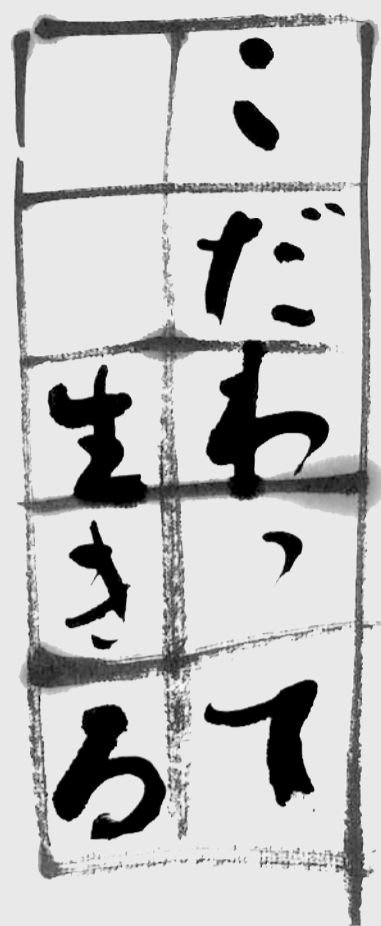
真三はここまで大きくなった舞を健太郎にみせてやりたかつた。ただ彼女も父親の血を引いているのか、これからは人生の荒波に向かうのではないだろうか、と真三には不安もよぎつた。



大阪、四天王寺の金堂と五重塔

塔の屋根
燕も詣る
四天王寺

先頃、真宗大谷派門徒のオウと親鸞聖人七百五十回御遠忌法要に、京都東本願寺へ出かけ、翌日大阪城や四天王寺を見学しました。四天王寺は聖徳太子が建立した奈良飛鳥寺と並び日本最古の寺院です。建立当時は「敬田院(寺院)・施薬院・療病院・悲田院(福祉施設)」の四箇院院が設置され、歴史上幾度も被災しました。昭和二十年の大阪大空襲で消失しましたが、飛鳥建築様式(鉄筋コンクリート造)で再建されました。屋根瓦は見た心があります。



絵手紙集

絵文 椋山善久

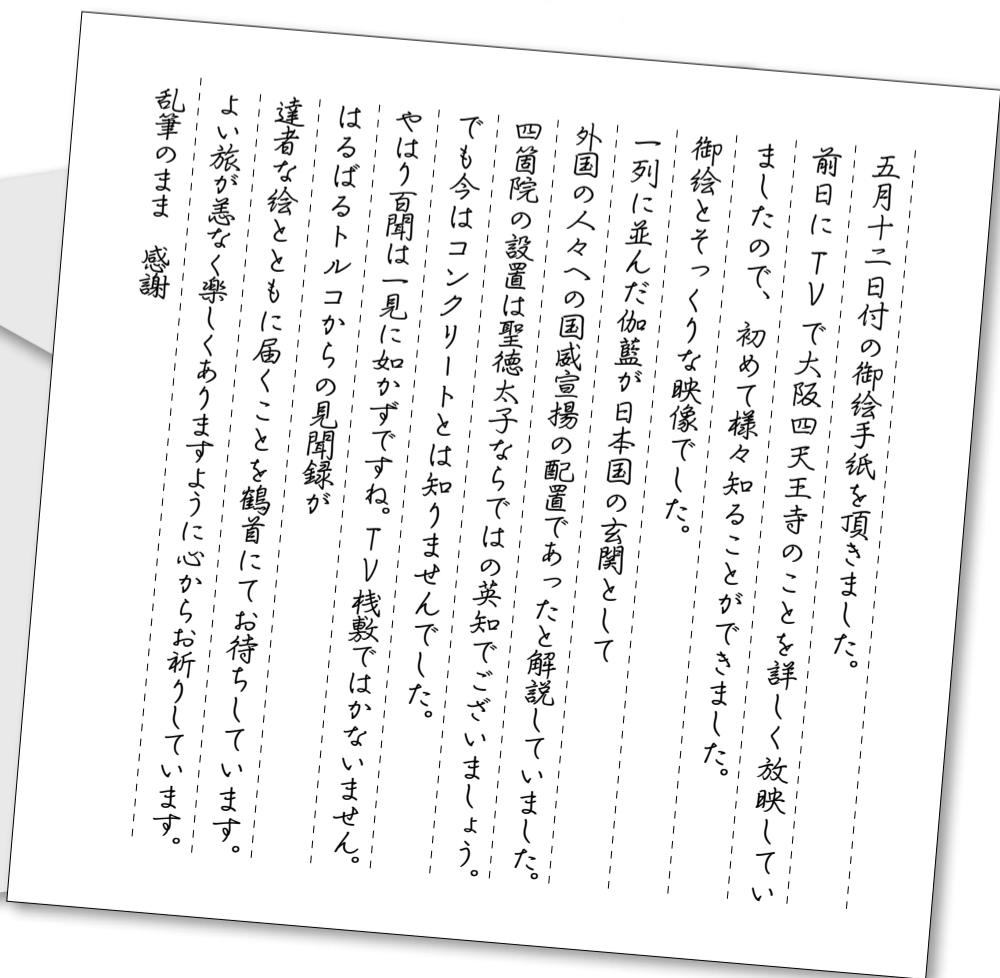
返文 小林玲子

椋山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。
丸栄陶業株式会社代表取締役。
碧南商工会議所会頭。
愛知県陶器瓦工業組合理事長。
全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。
平成十三年藍綬褒章受賞。
平成二十二年旭日小授章受賞。
丸栄陶業株式会社取締役会長現在に至る。
京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・洋画コース大学院修士課程二回生。

小林玲子

碧南市に育つ。
西尾市在住
共著「西尾の民話」
童話「サケの子ピッチ」
随筆「海辺のそよ風」
(中経コラム「閑人帳」より)
ミュージカル脚本
「めぐりちゃんのおうち」ほか



五月十二日付の御絵手紙を頂きました。
前日にTVで大阪四天王寺のことを詳しく放映して
ましたので、初めて様々知ることができました。
御絵とそっくりな映像でした。
一列に並んだ伽藍が日本国の玄関として
外国の人々への国威宣揚の配置であったと解説して
いました。四箇院の設置は聖徳太子ならではの英知
でございました。でも今はコンクリートとは知り
ませんでした。やはり百聞は一見に如かずですね。
TV機数ではないかもしれませんが、はるばるトル
コからの見聞録が、達者な絵とともに届くこと
を鶴首にてお待ちしております。よい旅が
悪くなく楽しくありますように心からお祈り
しています。乱筆のまま 感謝

知多の動植物雑記(三三三)

原 穰

五月になったナ！わが世の春が、やってきたナ！とつい叫んでしまふ、今日この頃である。

そして、思い通り、まずは河和口の海岸へ出てみると、砂浜が続く、貝殻があちこちに散らばっている。目をかざせば、ohノワン



うるわしき桜貝ひとつ

すことなく唄えるのは、なんて美しく可愛い貝なんだろうとこの貝は、去年の浜辺にわれ一人、ひろいし貝よなんて、抜か

島旅回廊

～ハワイアン・カルチャー②～

半田空の科学館・半田市体育館 館長 池田 昇

日本でもハワイ料理が手軽に食べられるようになりました。私が住んでいる半田の街にもハワイアン・カフェがあります。ハワイ料理の中で最もポピュラーなのが「ロコモコ」でしょう。

ロコモコのルーツには諸説ありますが、ハワイ島東海岸のヒロの街でレストランを経営していた日系のイノウエ夫妻が、お腹を空かせた学生から安くてお腹いっぱいになるものを食べさせて欲しいとリクエストされ、ありあわせで作った丼が大ヒットしたと言う説が有名です。

さて、本場のロコモコを食べたいという方には、同じくヒロにあるレストラン、「カフェ100 (ワンハンドレッド)」をお薦めします。

1946年、退役したリチャード・ミヤシロさんは故郷のヒロにレストランをオープンしました。それが「カフェ100」です。店名について100の意味はもうお判りですね。



①カフェ100 外観写真



②ロコモコ

1946年、退役したリチャード・ミヤシロさんは故郷のヒロにレストランをオープンしました。それが「カフェ100」です。店名について100の意味はもうお判りですね。

①かつてヒロの街は大きな津波に2度も襲われました。街にはまだその傷跡が残っています。カフェ100も打撃を受け、現在の店舗は3軒目となります。

②カフェ100のオリジナル・ロコモコです。これで3ドル50セント。日本円ならば400円しません。是非お試しください。

柴田 昂さん
色に染まる植物染料を使っている。ただただ急須が大好きだったから。常滑では、製陶所の一角を借りて作陶に励んでいる。



見送られた。次に選んだ所は常滑だった。理由は、ただただ急須が大好きだったから。常滑では、製陶所の一角を借りて作陶に励んでいる。ここでは、同じような夢をもつ者や、同じような境遇の若者が日々、切磋琢磨している。



滑、東京、仙台と、活動の場を広げていく。その土地柄なのか、お客さんの人柄も各地で違ってくる。陶器が好きだ。お酒が好きだ。面白さという。白と黒は嬉しい。

若竹俳壇

作品募集
毎月10日までに集めて
発行所へ

立ち止まり驚きの声聞く山路
春や普通電車は眠きもの
河川にも一級二級春の鴨
花弁と水面遊ぶメダカたち

千円 申込み要
●武豊町中央公民館
●武豊町立図書館
●半田空の科学館
●おもしろ児童館
●おもしろ児童館

申込み要
●武豊町中央公民館
●武豊町立図書館
●半田空の科学館
●おもしろ児童館
●おもしろ児童館

